

シフトポジションインジケータ

SHIFT POSITION INDICATOR [SPI-M01]

【'01~'07 ape50 / '02~'08 ape100】

バッテリーレス車専用【バッテリー車・Fi車不可】

ノーマルギア比での
シフトポジションデータ登録済み

取扱説明書

セット内容

- SPI-110mini本体 ●専用ハーネス ●PG-110センサー（3Pカプラー仕様）
- PG-110センサー用アルミステー（ノーマルスイングアーム用） ●チェック用LED
- ADC-110（2Pカプラー仕様） ●ADC-110延長ハーネス ●バーハンドルステー
- SPI本体用両面テープ（厚、薄）x各1枚 ●マグネット（1.5mm厚）x4個
- ドーナツ型テープx4個 ●タイラップ（長290mm、短142mm）x各5本

注意事項

- 本書はAPE100に対応する内容となっており、APE50とは異なる点がございます。車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照して作業を行ってください。
- SPIメーター本体の裏面にはスイッチがあります。付属の両面テープを貼り付けて、水が浸入しないように注意してください。
- 取り付けは説明書に沿って正しく行ってください。説明書記載以外の方法での取り付けは火災・事故などの原因になる事があります。ご注意ください。
- 本製品の使用により生じた事故・故障などいかなる損害においても当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 製品に不具合が発生し、修理や返品の際に生じた工賃・送料などいかなる費用について、当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

取り付け方法

※本説明書では製品の取り付けのみ解説いたします。
車両メーカー発行のサービスマニュアルを参考に作業してください。

【取り付け作業の準備】

作業し易い様に、ヘッドライトレンズ、シート、ガソリンタンク、左サイドカバーを取り外します。※作業の際は必ずキーOFF、火気厳禁で行ってください。

【専用ハーネスの取り付け】

- ①左クランクケース上のゴムブーツ内にある白い3Pカプラーを外します。
- ②専用ハーネスの白い3Pカプラーを車体側ハーネスカプラーへ接続します。
- ③エアクリナーBOX上に専用ハーネスを取り回します。
- ④アースコードをエアクリナー取り付けボルトと共締めします。

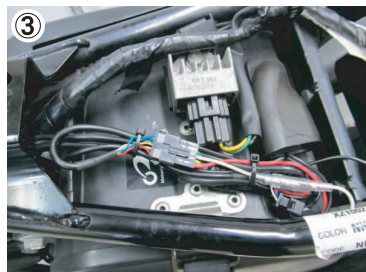
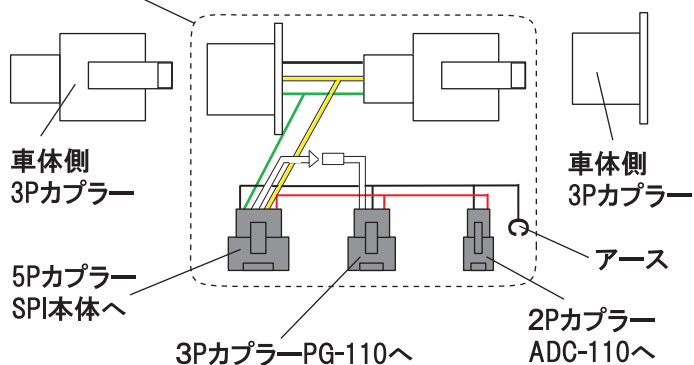


この位置にあるラバーをめくって
コネクターを出してください。



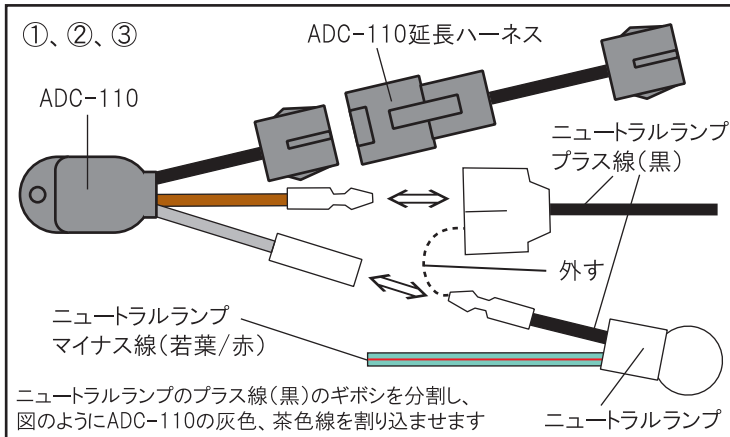
① 車体側白3Pカプラー

② 専用ハーネスを車体側3Pカプラーに割り込ませます

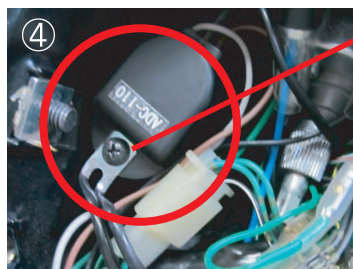


【ADC-110交流・直流変換機の取り付け】

- ①ヘッドライトケース内にあるニュートラルランプの黒線のギボシを外します。
- ②ADC-110の茶色、灰色線をニュートラルランプの黒線に割り込ませます。
- ③ADC-110用延長ハーネスをADC-110の黒2Pカプラーに接続します。



- ④ADC-110をヘッドライトケース内に取り付けます。



ハーネスバンドのタッピングビスを使ってADC-110を取り付けます。ヘッドライトケース内側に両面テープを使って貼り付けていただいても結構です。

- ⑤ADC-110延長ハーネスを取り回します。



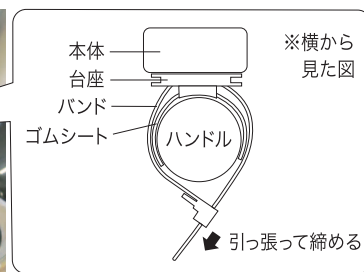
ADC-110延長ハーネスをフレームに沿わせ、ヘッドライトケースからエアークリナーBOX上の専用ハーネスまで取り回します。

ハーネスはタイラップでフレームに固定します。

専用ハーネスの2Pカプラーに接続します。

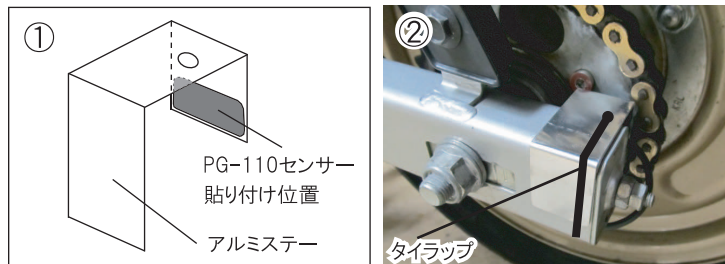
【SPI本体の取り付け】

- ①ハンドルバーにハンドルステーを取り付けます。
- ②SPI本体を両面テープで貼り付けます。
※後でシフトアップインジケータの設定を行いますので仮付けにしてください。
- ③SPI本体のコードをフレームに沿って専用ハーネスまで取り回します。
※SPIのコードは、ハンドルを左右に切った時、コードが引っ張られないようにハンドルバーやフレームなどにタイラップで固定してください
- ④エアクリナーBOX上の専用ハーネスとSPIの5Pカプラーを接続します

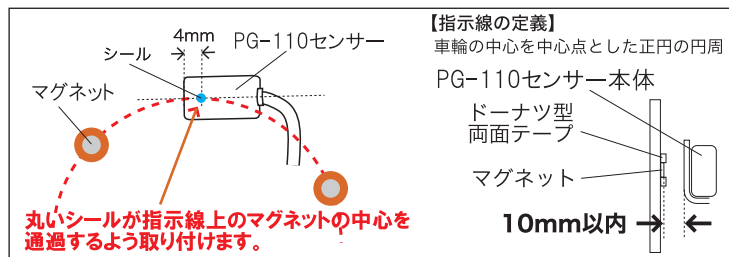


【PG-110 スピード信号センサーの取り付け】

- ①PG-110センサーをアルミステーへ貼り付けます。
- ②下の画像を参考に付属品のPG-110センサー用アルミステーをスイングアーム左(スプロケ側)に両面テープとタイラップで取り付けます。PG-110センサーとマグネットとの隙間は10mm以内の範囲で調整します。



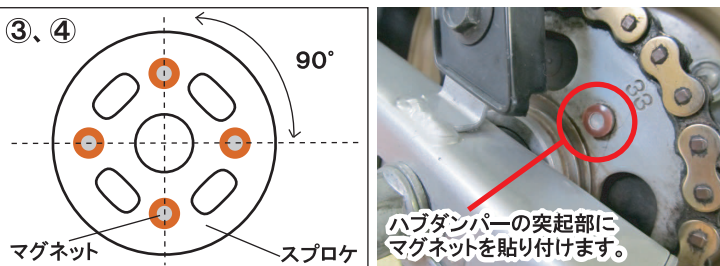
※付属のステーはAPE100ノーマルスイングアーム・ノーマルスプロケ用です。APE50やノーマル以外の場合、ステーの加工・調整が必要になります。



上記枠内の注意点を参考にリアスプロケットにマグネットを4箇所貼り付けます。

- ③ドーナツ型のガイドテープを90° 間隔で貼ります。
- ④マグネットを市販の金属用ボンドを使って貼り付けます。

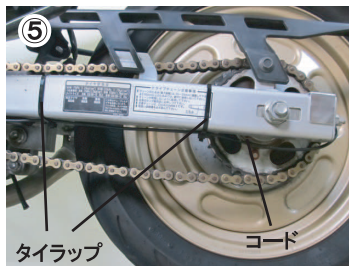
※マグネットは必ずホイール中心部に対し90° になるように等間隔に配置します。ハブダンパーにスプロケ取り付ける出っ張りに貼ると均等に貼り付けできます。



- ⑤PG-110のコードはスイングアームに沿ってチェーンが当たらないように取り回し、タイラップで縛り、エアークリーナーBOX上の専用ハーネスまで通します。

※コードに無理なストレスが加わらないように取り直しには注意してください。

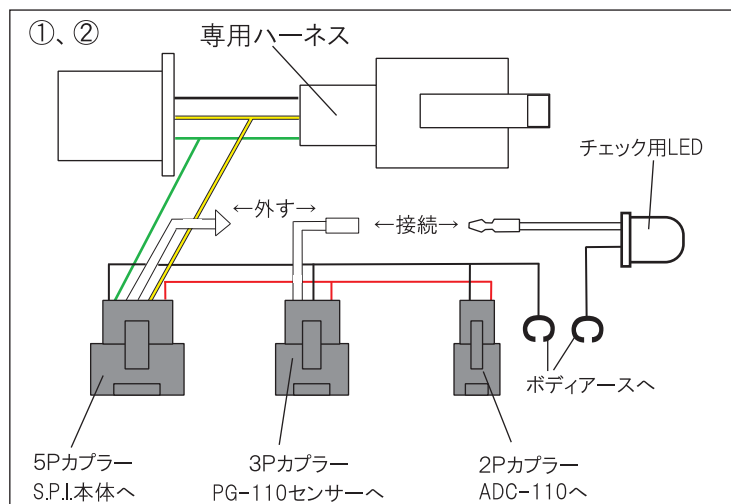
- ⑥PG-110センサー3Pカプラーを専用ハーネスの3Pカプラーへ接続してください。余ったコードは束ねてタイラップで結束します。



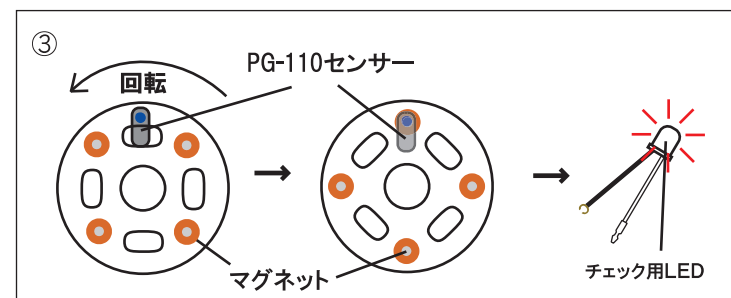
【PG-110センサーとマグネットの位置をチェック】

- ①専用ハーネスの黒5Pカプラーと、黒3Pを繋いでいる白線のギボシ端子を外し、チェック用LEDの白線をメインハーネスの黒3Pカプラーの白線へ接続します。
- ②チェック用LEDのもう一方の線(青または黒)をボディアースに接続します。

※チェック用LEDは12vの電源がないと作動いたしません。



- ③エンジンを掛けてギアをニュートラルに入れ、手でホイールをゆっくり回転させ、マグネットがPG-110センサーを通過する時にLEDが点灯し、通り過ぎたら消灯する事を全てのマグネットで確認してください。4箇所のマグネット全て点灯していれば正常です。



※全てのマグネットにおいてLEDが点灯しない場合は電源が入っていないか、センサーとマグネットの間隔が離れすぎているか、位置が合っていないので、マグネットを貼り直し再調整してください。

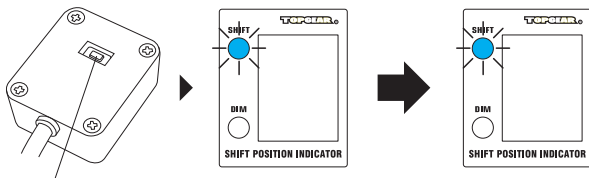
※チェック終了後はLEDを外し、白線のギボシ端子を接続してください。

※チェック用LEDは12vの電圧で点灯致しますので、多目的にご利用頂けます。

- 各ギアポジションの登録及びシフトアップインジケータ登録、及びエラー表示の詳細は別紙にて解説しております。
- 登録終了後、ヘッドライトレンズ、シート、ガソリンタンク、左サイドカバーなど外した部品の取り付けして完了となります。

シフトアップインジケータの設定

実際の走行時において、設定値より回転が上ると青色LEDが点灯します。



ギアがニュートラルであることを確認し
エンジンを始動後、青色LEDが点滅するまで
本体裏のボタンを長押しします。

設定したい回転数まで上げて戻すと
青色LEDが高速点滅し、セット完了です。
※設定の変更は何回でも可能です。

※APE50の場合は必ず、ギアポジションの登録を行ってください。

※APE100で前後スプロケがノーマル(F15/R33)以外の場合、ギアポジションの登録を行ってください。
また、APE50の5速ギアを使って一時減速比を変更している場合もギアポジションの登録を行ってください。

※本製品のSPI本体は5速ミッション用です。
社外の6速ミッションに換装している場合そのままでは使用頂けませんので、弊社にてソフトウェアの書き換えを税込み¥2,000にて承ります。ご連絡ください。

ギアポジションの設定

本製品はAPE100のノーマルミッション及びノーマルスプロケ(F15/R33)並びに、本説明書の指示通りのマグネットの配置や個数で取り付けられた場合に対するギアポジションの設定済みですので基本的にギアポジションの設定は不要ですが、登録済みのプログラムでギアポジションが正しく表示されない場合以下の方法でギアポジションの設定(登録)を行ってください。

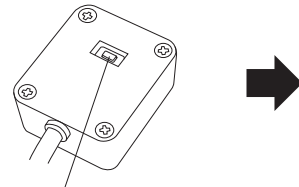
※スプロケットやミッションを変更している場合は必ず設定を行ってください。

※ギアポジションの設定は実走行にて行います。

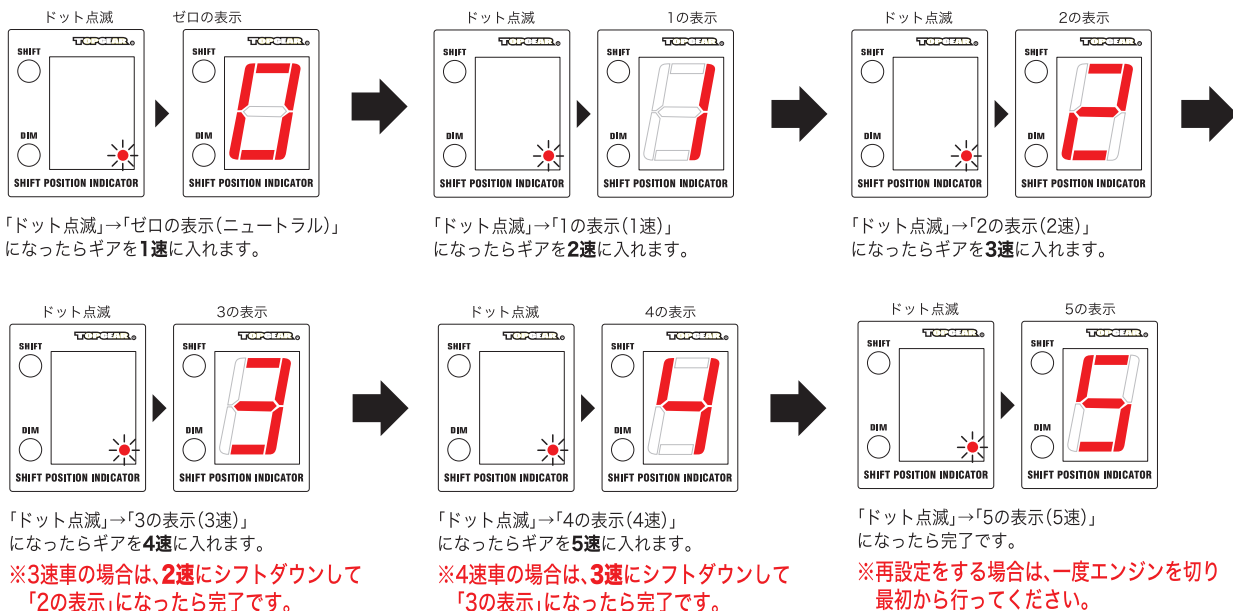
安定したエンジン回転数で走行し設定登録を行ってください。

※実走行での設定は周囲の道路状況に注意して行ってください。

※「ドット点滅」から「数字の表示」に切り替わるのに若干時間がかかります。



ギアがニュートラルであることを確認し
エンジンを始動後、本体裏のボタンを
3回押します。



実走行によるギアポジションの設定方法の注意点

※ ギアポジション設定には**スピード信号**と**回転信号**の両方がSPI本体に入力される必要があります。

※ スピード(速度)信号のセンサーがあるホイールが回転しない状態では設定できません。

(本製品の場合リアホイール側に速度を検知するセンサーを装着しております)

- ・ 設定は必ず実走行にて行ってください。
- ・ 走行の際は、周囲の道路状況を確認して安全に十分留意して行ってください。
- ・ 各ギア共に安定したエンジン回転数で走行し登録してください。
エンジンのノッキングなどギクシャクした走行状況下では正しい登録ができません。
- ・ 以後の設定操作は、【ギアポジションの設定】をご覧くださいまして設定を行ってください。

◆実走行以外での設定時の注意点◆

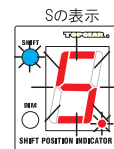
レーシングスタンド(メンテナンススタンド)を使用して、リアタイヤを回転させて設定することができます。

※ 必ずリアホイールを回転(空転)させてください。

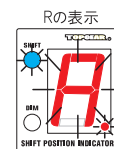
- ・ 以後の設定操作は、【ギアポジションの設定】をご覧くださいまして設定を行ってください。

【万一、以下の表示が出たら】

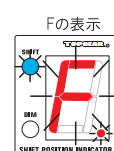
SPI本体やPG-110センサーと専用ハーネスが接続されている
カプラーのピン抜けなどが考えられますのでご確認ください。



スピード信号が取れていない場合、S表示点滅+ドット点滅が表示されます。
SPI及びPG-110の白線とメインハーネスの白線の接続を確認してください。
また、メインハーネスの白線のギボシが外れていないか確認してください



エンジン回転信号が取れていない場合、
R表示点滅+ドット点滅が表示されます。
SPIと専用ハーネスの黄色線が正しく接続されていません。



スピード信号とエンジン回転信号の両方が取れていない場合、
F表示点滅+ドット点滅が表示されます。
上記の「S」、「R」表示の問題点を確認してください。